

養護教諭養成大学における養護実習の手引きの内容とその効果

山田 浩平*, 福田 博美*, 岡本 陽*

*愛知教育大学養護教育講座

Contents and Effects of the Handbook on Teaching Practice for *Yogo* Teachers in the Associated University

Kohei YAMADA*, Hiromi FUKUDA*, Akira OKAMOTO*

* Department of School Health Sciences, Aichi University of Education, Kariya 448-8542, Japan

要 約

本研究では、養護教諭養成大学で使用されている養護実習の手引きを分析するとともに、本学の養護教諭養成課程の学生に対して養護実習の手引きを使用した際の調査を行い、養護実習の手引きを充実させるための基礎資料を得ることを目的として調査・分析を行った。その結果、養護実習の手引きについて、大学ごとにその内容をまとめたところ、9つのカテゴリーが抽出され、カテゴリーごとに各大学の手引きの記述内容をカウントすると、養護実習の意義や養護実習の心得は全ての手引きに記載されていた。一方、養護実習手引きのわかりやすさについては、わかりやすかったと答えた学生は65%程度であり、特に教育実地研究のしかたと各種記録物・提出物の種類と数については養護実習の受け入れ先の指導教員や教務主任等からも質問が多く、さらにわかりやすい内容に改善していく必要がある。

Keywords : 養護実習、養護実習の手引き

handbook on teaching practice for *Yogo* teacher (*Yogo* teacher: teacher of health promotion and health service)

I. 緒 言

教育実習は、大学の講義や演習、実習で学んできた一般教養、教職専門、専門科目などの知識・技能を学校という教育の場で実際に生かしてみる機会である。また、その目的としては学校の教育活動全体を通して児童生徒と関わり、観察や参加、実習等によって現場教師の姿から教師としての人格や職能を学びとり、教育者としての自覚を高めることにある。

教育実習では学生はこれまでの教えられる側から教える側へと立場が変わり、大学での学生生活とは異なった社会人としての規律が必要となる。具体的には、服装や言葉遣い、態度、時間管理など様々な要因に注意を払うことになる。教育実習は、大学教育の単位の1つであると同時に、教師として児童生徒に教育権を保障しなくてはならない。したがって、授業等に責任を持って取り組むとともに、学習指導案等作成の準備段階から自分がこれまでに身につけたことのすべてを

出せるよう全力で取り組まなければならない。授業や実習のうまい下手よりも大切なことは子どもたちに自分の教えたいことを精一杯伝えようとする姿勢である。この姿勢が児童生徒に対しての責任の一翼を担うことになる。これら教育実習の意義は養護実習においても同様で、養護教諭になるための実地研究の場が養護実習である。

養護実習は、養護教諭の免許取得の条件を規定している教育職員免許法に記載されている。養護教諭1種免許状の取得には5単位、2種免許状の取得には4単位が義務づけられており、うち1単位は実習の事前および事後指導にあてられている¹⁾。養護実習の効果を上げるためには、実習に行く前の事前指導で実習の意義や目的・内容をよく理解し、前もってしっかりと準備をしておく必要がある。同様に、実習後は学びを共有したり、今後の大学生活に活かしたりするための振り返りを充実させる必要がある。

養護教諭の職務は、中央教育審議会答申(平成21年1月)によると²⁾、救急処置、健康診断、疾病予

防などの保健管理、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動に大別される。養護教諭はこれらの職務内容を年間を通して多角的に展開しているため、限られた実習期間では体験できない内容もある。また、教科教育を中心とした一般の教育実習では、学級単位の児童・生徒を対象として働きかけることが多いのに対し、養護実習では学級単位とは限らない集団あるいは個人を対象として働きかけをしなければならない。そのため、常に学校全体に目を向けることが肝要である。また、養護実習での活動の対象は、児童生徒だけではなく、教師や保護者、専門機関関係者などの人的要因、環境衛生、保健室の管理などの物的要因も対象となる。さらに、養護教諭の職務内容は専門的で、多岐にわたっているため、実習期間を通して様々な養護教諭の活動内容を体験することが望ましい。そのため、まずは実習校の特性（例えば、教育目標・教育計画、子どもたちの実態など）を理解し、その次に養護教諭としての指導観や保健室経営観などを学び、それらを養護実習の指導教員である養護教諭の日常生活の中で体験していくといった段階を経ることになる。なお、一般の教育実習という研究授業は、養護実習では総合実習、終日実習、責任実習などとよばれ、一日の保健室執務計画を立てて、ルーティーンの仕事を中心に、保健室来室者に対応したり、保健だよりを作成したり、保健指導等の教材研究を行ったりする。

このような、養護実習を支えるための資料として養護実習の手引きがある。養護実習の手引きは、各大学で独自に作成されることが多く、実習の意義や目的、内容、心構え等が記載されている。初めて教育実習を体験する学生にとっては、実習の内容等を分かりやすく、興味深く説明している手引きの教材的価値はとても高い。また、実習前の学生や実習を担当する養護教諭にとっても大変重要な情報源であり、手引きの質は実習の質に大きな影響を与えとも言えよう。これまでの養護実習に関する研究を概観すると、養成機関ごとに実習の実態が大きく異なることが報告されており^{3) 4)}、実習の内容や方法についての研究を充実させる必要がある。また、養護実習の内容に視点をあてた研究や^{5) 6)}、養護教諭の経験年数による実習の現状⁷⁾、養護実習の実態等⁸⁾に関わる研究は散見されるものの、養護実習の手引きに視点をあてた研究は皆無である。

そこで本研究では、各大学で使用されている養護実習の手引きを分析するとともに、本学の養護教諭養成課程の学生に対して養護実習の手引きを使用した際の調査を行い、養護実習の手引きを充実させるための基礎資料を得ることを目的とする。

II. 研究方法

1. 研究1

1) 目的

各大学で使用されている養護実習の手引きの項目を分析する。

2) 研究方法

愛知教育大学の養護実習の手引き(A)⁹⁾と、入手することができた北海道、東北のB,C大学、関東のD,E大学、北信越のF,G大学、東海のH,I,J大学の養護実習の手引きについて、その内容を分析する。なお、手引きの分析にあたり、今回は実習の記録を作成する記録用紙については分析対象から割愛した。

2. 研究2

1) 目的

本学の養護実習の手引きを使用した学生に、手引きを使用した際の問題点等を調査する。

2) 調査時期・対象者

2017年11月に、養護実習を終えた本学養護教諭養成課程3年生44人を対象に、自作の無記名式の質問紙調査を用い、集合形式で回答を得た。調査は養護実習の担当でない教員が説明を行い、調査票の配布に際しては、本調査の趣旨を説明し、調査への協力は対象者本人の自由意志が尊重され、成績に影響しないことを説明した。調査協力の同意が得られなかった場合には、その場で調査を打ち切るように配慮した。

3) 調査内容(資料参照)

養護実習の手引きを実習に持参したか、手引きの内容について実習先の教員から質問があったか、手引きの内容は理解できたか、手引き内の各項目(養護実習の一日、教育実地研究のしかた等)についてわかりやすかったか、各種提出物の書き方について役に立ったか等について4件法で尋ねた。また、手引きに付け加えて欲しい項目、無くしてもよい項目について自由記述で回答を得た。

III. 結果

1. 研究1：養護実習の手引きの分析

1) 養護実習の手引きの形態

Table1には、各大学の実習の手引きの形態をまとめた。10校中7校で養護実習独自の手引きが作成されており、2校が他教科と同一冊子、1校が小・中・高の校種別になっていた。一方、冊子の大きさは7校がA4版で2校がB5版、手引きの形状は7校が冊子で2校がプリントの左上1箇所にはホッチキス留めがなされていた。

次に、養護実習の手引きの該当ページ数をみると、最高が33ページ、最低が4ページであり、大学ごと

にばらつきがみられた。なお、ページ数の平均値を算出すると 16.2 ページであった。

2) 養護実習手引きの内容

Table2 には、各大学の実習の手引きの内容をまとめた。その結果、大きく 9 つのカテゴリーに分けることができた。具体的には、1. 養護実習の意義、2. 養護実習の目標、3. 養護実習の方法、4. 養護実習の内容、5. 養護実習の心得、6. 養護実習の準備・振り返り、7. 養護実習の評価、8. 養護実習での提出物、9. 各種記録用紙の書き方であり、4. 養護実習の内容については、多くの記載がなされていた。

これら 9 つのカテゴリーごとに各大学の手引きの記述内容をカウントすると、1. 養護実習の意義の「大学での学びを学校現場で活かす」「教育者としての自覚を高める」、5. 養護実習の心得の「服装」「言葉遣い」「態度」は全ての手引きに記載されていた。次いで多かったのが、4. 養護実習の内容の「各学校の特性」「救急処置」「健康診断」「健康観察」「疾病予防」「健康相談」「環境衛生」「保健教育」「学校保健・安全計画」「保健室経営計画」「学校保健組織活動」であり、8 校が記載していた。さらに 7 校が記載していたのが、2. 養護実習の目標の「児童の特質や学校生活の実態を把握」、3. 養護実習の方法の「実習期間」「観察」「参加」「実習」、6. 養護実習の準備・振り返りの「事前指導」「事後指導」であった。ちなみに、実習期間は 3 週間が多く、4 週間の大学もあった。また、実習の方法は「観察」「参加」「実習」の形態をとる大学が多かった。

なお、半数程度の大学しか記述されていなかったが、7. 養護実習の評価については、「生徒指導」「保健(養護)活動」「実習態度」「保健指導」であった。

2. 研究 2：手引きを使用した学生への調査

質問紙には、全対象者から回答があり、無回答がある者はおらず 44 人全てを有効回答とした。

1) 手引きの持参と実習目標の達成度

養護実習の手引きの持参については、43 人

(97.7%) が毎日持参しており、実習初日のみ持参した者は 1 人(2.3%) であった。次に、養護実習の手引きに示された養護実習の目標の達成度をみると、「到達できた」11 人(25.0%)、「やや到達できた」29 人(65.9%)、「あまり到達できなかった」4 人(9.1%)、「到達できなかった」0 人(0.0%) であり、10%弱はあまり到達出来ていないと感じた。

2) 養護実習の手引きの理解度と活用度

Table3 には、養護実習手引きの各項目の理解度についてまとめた。手引きは「とてもわかりやすかった」4 人(9.1%)、「わかりやすかった」24 人(54.5%)、「あまりわかりやすくなかった」15 人(34.1%)、「わかりにくかった」1 人(2.3%) であり、30%以上がわかりにくいと感じていた。特に、「養護実習の意義」「養護実習の一日」「教育実地研究の仕方」「各種記録物・提出物の種類と数」の項目においても 20~30%近くが、わかりにくい若しくは見ていないと答えていた。

次に、Table4 には、養護実習の手引きの提出物・記録例の活用についてまとめた。「救急処置の事例記録」と「学校行事等の参加記録」は 90%以上が役に立ったとしていた。しかし、「健康相談または個別保健指導」の書き方と「保健学習または保健指導の学習指導案」について「役に立たなかった」「見ていない」の回答が 20%以上あり、学校により書式が異なっているため、役立てない可能性が示唆された。

3) 養護実習の手引きに対する質問内容

Table5 には、養護実習の手引きに対して実習先の指導教員等からの質問をまとめた。教育実習指導者および教務主任から 16 人が質問を受けていた。質問内容のうち、多くは提出物の内容についてであり、記録用紙について言及したものもあった。その他に評価方法、スケジュール(保健室と教室のバランス)の質問もあった。

一方、養護教諭からは 15 人が質問を受けていた。質問内容は教務主任からと同じく、提出物の内容についてが最も多く、書式、捺印者、朱書きの方法等についても質問があった。それ以外には、学びたいことは何か、総合実習の行い方について質問を受けていた。

Table. 1 養護実習手引きの形態

	A大学	B大学	C大学	D大学	E大学	F大学	G大学	H大学	I大学	J大学
手引きの冊数	総論と養護実習 1冊ずつ	養護実習1冊	総論と各校種別 1冊ずつ	養護実習1冊	養護実習1冊	他教科と 同冊子で1冊	養護実習1冊	養護実習1冊	養護実習1冊	他教科と 同冊子で1冊
手引きの大きさ	B5版	B5版	A4版	B5版	A4版	A4版	A4版	A4版	A4版	A4版
手引きの形状	冊子	冊子	冊子	冊子	冊子	冊子	冊子	冊子	ホッチキス留め	ホッチキス留め
ページ数	養護実習 27p 総論 34p	養護実習 33p	養護実習編 10p 総論編 72p	養護実習 16p	養護実習 20p	養護実習 18p	養護実習 4p	養護実習 11p	養護実習 10p	養護実習 6p

Table.2 養護実習手引きの内容構成

	A大学	B大学	C大学	D大学	E大学	F大学	G大学	H大学	I大学	I大学	計
1. 養護実習の意義											
大学での学びを学校現場で活かす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
教育者としての自覚を高める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
自己の教員としての適性を判断する		○			○				○	○	4
2. 養護実習の目標											
児童の特質や学校生活の実態を把握	○		○	○		○	○	○	○		7
学校保健計画、学校安全計画の理解	○		○	○		○	○	○			6
学校保健活動の理解	○		○	○		○	○	○			6
疾病予防・健康増進のための能力を養う	○		○	○				○			4
教師としての研究活動の実践を知り経験する	○					○		○	○		4
保健上の問題を発見・解決するための能力を養う	○								○		2
3. 養護実習の方法											
実習期間	○		○	○	○	○		○	○		7
実習の予定表	○										1
講話	○	○	○						○		4
観察	○	○	○			○		○	○	○	7
参加	○	○	○			○		○	○	○	7
実習	○	○	○			○		○	○	○	7
実習校の選定						○				○	2
実習に必要な単位						○				○	2
4. 養護実習の内容											
各学校の特性	○		○	○	○	○	○	○	○		8
救急処置	○		○	○	○	○	○	○	○		8
健康診断	○		○	○	○	○	○	○	○		8
健康観察	○		○	○	○	○	○	○	○		8
疾病予防	○		○	○	○	○	○	○	○		8
健康相談	○		○	○	○	○	○	○	○		8
欠席調査	○		○				○				3
学校給食	○		○		○		○		○		5
環境衛生	○		○	○	○	○	○	○	○		8
保健教育	○		○	○	○	○	○	○	○		8
学校保健・安全計画	○		○	○	○	○	○	○	○		8
保健室経営計画	○		○	○	○	○	○	○	○		8
学校保健組織活動	○		○	○	○	○	○	○	○		8
保健に関する統計処理	○		○	○	○		○		○		6
特別活動	○	○	○		○		○	○			6
道徳		○									1
総合的な学習の時間		○									1
5. 養護実習の心得											
服装	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
言葉遣い	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
態度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
時間管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
禁止事項（守秘義務、物品贈呈、宗教宣伝等）		○	○		○	○	○		○		6
個人の健康管理							○			○	2
ハラスメント	○										1
6. 養護実習の準備・振り返り											
事前指導	○	○	○	○		○		○	○		7
事後指導	○	○	○	○		○		○	○		7
お礼状の書き方						○	○	○			3
教科書購入		○									1
7. 養護実習の評価											
生徒指導	○		○	○				○	○		5
保健（養護）活動	○		○	○				○	○		5
実習態度	○		○	○				○	○		5
保健指導			○	○				○	○		4
8. 養護実習での提出物											
教育実習記録	○	○					○		○		4
健康相談または個別保健指導	○						○		○		3
体育科保健領域等、保健指導の学習指導案	○	○					○				3
総合実習計画	○								○		2
救急処置の事例記録	○								○		2
学校行事等の参加記録	○										1
道徳の指導案		○									1
講話の記録									○		1
保健だより							○				1
9. 各種記録用紙の書き方											
	○	○		○	○		○	○	○		7

養護教諭養成大学における養護実習の手引きの内容とその効果

Table.3 養護実習の手引き各項目の理解度

	とてもわかりやすかった	わかりやすかった	あまりわかりやすくなかった	わかりにくかった	見ていない
養護実習の手引き	9.1%	54.5%	34.1%	2.3%	0.0%
養護実習の意義	2.3%	72.7%	18.2%	6.8%	0.0%
養護実習の一日	4.5%	70.5%	20.5%	0.0%	2.3%
教育実地研究のしかた	0.0%	61.4%	20.5%	13.6%	2.3%
各種記録物・提出物の種類と数	15.9%	56.8%	13.6%	9.1%	0.0%

Table.4 各種提出物・記録例の活用

	とても役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった	見ていない
教育実習記録	13.6%	47.7%	20.5%	11.4%	4.5%
健康相談または個別保健指導	13.6%	34.1%	34.1%	15.9%	2.3%
救急処置の事例記録	43.2%	52.3%	4.5%	0.0%	0.0%
学校行事等の参加記録	38.6%	54.5%	2.3%	4.5%	0.0%
保健学習・保健指導の学習指導案	9.1%	29.5%	25.0%	11.4%	25.0%
「養護実習編」は役に立ちましたか	13.6%	72.7%	11.4%	2.3%	0.0%

Table.5 養護実習の手引きに対する質問内容

	教育実習指導者・教務主任 (16人記述)	養護教諭 (15人記述)	その他の教員 (6人記述)
提出物の内容 (同内容11件)	提出物の内容 (同内容7件)	提出物の内容 (同内容3件)	
提出書類の確認 (同内容5件)	提出物の確認 (同内容4件)	提出物の確認 (同内容2件)	
記録の書き方 (同内容4件)	書類の書き方 (同内容3件)	大学への書類の提出期限	
提出物 総論編との関わり	提出物の書式に関して (同内容2件) 提出物の朱書きについて 印が誰のものであるのか 健康相談, 心の相談の事例	提出物の書式に関して	
評価方法	学びたいことは何か	実習期間について	
その他 スケジュールの組み方 保健室と教室とのバランス	総合実習の行い方	保健室と教室とのバランス	

Table6. 養護実習の手引きで付け加えてほしい項目 (16人記述)

提出物	提出物の詳しい内容 (同内容9件)
	提出物の提出先 (同内容6件)
	体裁の整え方 (同内容5件)
	毎日の日誌の書き方のポイント (同内容3件)
	行事の参加記録の行事の例
	授業参加, 観察記録の提出について
	観察参加記録の書くべき部数
	観察参加実習の時間の書き方
その他	実習の予定表だけでなく、一日の流れの予定表 (同内容3件)
	実習初日と最終日の振舞い方 (同内容2件)
	観察と参加との違い
	一般常識 (職員室の入り方など)
	お礼状について

また、その他の教員からも6人が質問を受けており、養護実習は他の実習生より1週間長いためか、実習期間についての質問もあった。

4) 養護実習の手引きで付け加えてほしい項目

養護実習の手引きについて、付け加えてほしい内容をみると、16人(36.4%)が答えていた。一方、無くしてもよい項目があった学生はいなかった。Table6には、学生から出された養護実習の手引きへ付け加えてほしい項目をまとめた。多くが提出物についてであり、体裁の整え方といった具体的な方法の希望もあった。

一方、その他にも5人の記述があり、職員室の入り口はどちらから入るとよいかといった社会の常識を教えてほしいなど、実習先での立ち居振る舞いに困っている様子が示された。

IV. 考 察

教員養成課程において、教職志望の学生が学校現場での実践力を形成したり、実際の教育活動を経験したりする機会として教育実習がある。1998年に教員職員免許法が改訂され、免許取得のために必要な単位数が増加し、教育実習期間も延長された¹⁾。また、2006年7月の中央教育審議会答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」では、教職課程での質的水準の向上に向けた具体策の1つとして教育実習の改善・充実が提言された¹⁰⁾。本研究は、養護実習の充実を図るために実習の手引きに視点をあて、その内容等について分析した。

まず、研究1の養護実習の手引きの分析について、東日本の10の養護教諭養成大学の養護実習手引きの形態についてみると、そのほとんどが養護実習独自のものが使用されており、A4版で冊子形式のものが大半を占めた。現在、学校で使用されている教科書等もB5版からA4版へと大きくなる傾向があり、実習の手引きもA4版で大きく見やすくなっている可能性がある。しかし、手引きのページ数にはばらつきがみられ、最低のものでは4ページしかなかった。おそらく、実習の事前指導等で追加の資料を配布していると思われるが、手引きとしてまとまっていた方が、実習生や実習先の指導教員への説明等に効果的であることを考えると、ある程度の費用対効果がみられるのではないと思われる。

これら養護実習の手引きについて、大学ごとにその内容をまとめたところ、1. 養護実習の意義、2. 養護実習の目標、3. 養護実習の方法、4. 養護実習の内容、5. 養護実習の心得、6. 養護実習の準備・振り返り、7. 養護実習の評価、8. 養護実習での提出物、9. 各種記録

用紙の書き方の9つのカテゴリーが抽出された。さらに、9つのカテゴリーごとに各大学の手引きの記述内容をカウントすると、1. 養護実習の意義や5. 養護実習の心得は全ての手引きに記載されていた。現在市販されている教育実習や養護実習に関わる著書や論文を確認しても^{11) 12) 13) 14)}、実習の意義としては大学での学びを学校現場で活かす機会であることや、教員になるための自覚を高める内容が記述されており、これらの意義は養護実習に限らず、教育実習共通の意義として捉えられていると考えられる。

次に手引きの内容として多かったのが、4. 養護実習の内容の「各学校の特性」「救急処置」「健康診断」「健康観察」「疾病予防」「健康相談」「環境衛生」「保健教育」「学校保健・安全計画」「保健室経営計画」「学校保健組織活動」であった。齋藤ら⁸⁾が2014年に全国の養護実習担当者について実習の内容を調査した研究でも上記の内容と同様の傾向が見られている。さらにこれらの項目は、前述した養護教諭の職務内容²⁾と類似しており、養護教諭の職務内容が適切に手引き内に記載されていると考えられる。

これとは別に、実習の方法についてみると、実習期間は3週間が多く、4週間の大学もあった。また、実習の方法は「観察」「参加」「実習」の形態をとる大学が多かった。先行研究^{8) 15) 16)}でも実習期間は3～4週間が9割近くを占めており、実習方法も「観察」「参加」「実習」であった。一方、7. 養護実習の評価については、「生徒指導」「保健(養護)活動」「実習態度」「保健指導」であった。養護実習の期間や内容については、教育系大学や看護系大学、短期大学等ではばらつきがあることが指摘されてきたが⁸⁾、実習の手引きでも同様にばらつきが見られた。今後は、養護教諭養成のコアカリキュラムに沿うような、最低限の内容を記載した、ある程度共通の手引きを検討していく必要があると思われる。

続いて、研究2の本学の養護実習の手引きを使用した学生への調査についてみると、養護実習の手引きの持参については、ほぼ全ての実習生が毎日持参しており、養護実習の目標も、「到達できた」「やや到達できた」を合わせると9割以上であった。自己評価ではあるものの、実習の手引きに記載されている到達目標を多くの学生が達成できたと評価していた。しかし、養護実習の手引きのわかりやすさについては、「とてもわかりやすかった」と「わかりやすかった」を合わせても6割5分程度であり、さらにわかりやすい内容に改善していく必要がある。具体的には、教育実地研究のしかたと各種記録物・提出物の種類と数については、わかりにくかったと答えた学生が多かった。各種記録物や提出物の内容や書き方については、養護実習の受け入れ先の指導教員や教務主任等からも質問が多かった。さらに、養護実習の手引きで付け加

えてほしい項目の上位も提出物に関わる内容であった。本学は養護実習の手引きの他に教育実習の総論編¹⁷⁾もあり、どちらの手引きを参考にして提出物を出せば良いのか混乱が起こっている可能性もある。このことも含めて、手引きの改正や事前指導での内容の充実が必要である。

次に養護実習の手引きの提出物記録例の活用についてみると、「救急処置の事例記録」と「学校行事等の参加記録」は9割以上の者が役に立ったと答えていたものの、「健康相談または個別保健指導」の書き方と「保健学習または保健指導の学習指導案」については、「役に立たなかった」「見ていない」が2割を占めた。個別の保健指導や集団の保健指導の学習指導案については、学校や地区により書式が異なっている。また、大学での講義等で作成した形式と、手引きに示されている指導案が異なる可能性もあるため、大学での講義を反映した指導案の提示を検討していく必要がある。これに加え、養護実習の手引きで改善してほしい項目として、職員室の入り口はどちらから入るとよいかといった社会の常識を教えてほしいなど、実習先での立ち居振る舞いに困っている様子も示された。この点については、普段の講義や実習の中で、一般的な社会常識についても話題にしていく必要性も示唆された。

最後に本研究の限界と課題として、以下の2点が挙げられる。まず本研究の養護実習の手引きの分析には、東日本の10の養護教諭養成大学しか対象とできなかった。手引きについては、さらに多くの大学の内容を分析する必要がある。2つ目は、実習の手引きを使用した学生に対する調査であるが、本学の学生のみしか対象としていないため、より多くの対象者に継続した調査をする必要がある。その際、教育実習先の指導教員や教務主任に対しても調査を行い、問題点や変更点等を明確にしていく必要がある。

V. 結 論

本研究では、養護教諭養成大学で使用されている養護実習の手引きを分析するとともに、本学の養護教諭養成課程の学生に対して養護実習の手引きを使用した際の調査を行い、養護実習の手引きを充実させるための基礎資料を得ることを目的として調査・分析を行った。主な結果は以下の通りである。

- 1) 養護実習の手引きについて、大学ごとにその内容をまとめたところ、1. 養護実習の意義、2. 養護実習の目標、3. 養護実習の方法、4. 養護実習の内容、5. 養護実習の心得、6. 養護実習の準備・振り返り、7. 養護実習の評価、8. 養護実習での提出物、9. 各種記録用紙の書き方の9つのカテゴリー

が抽出された。

- 2) 9つのカテゴリーごとに各大学の手引きの記述内容をカウントすると、1. 養護実習の意義や5. 養護実習の心得は全ての手引きに記載されており、4. 養護実習の内容は養護教諭の職務内容と同様であった。
- 3) 養護実習手引きのわかりやすさについては、わかりやすかったと答えた学生は6割5分程度であり、特に教育実地研究のしかたと各種記録物・提出物の種類と数についてはさらにわかりやすい内容に改善していく必要がある。
- 4) 同様の結果は、養護実習の受け入れ先の指導教員や教務主任等からも質問が多く、養護実習の手引きで付け加えてほしい項目の上位も提出物に関わる内容であった。

以上のことから、本研究で得られた知見を基に養護実習の手引きを改変し、学生や実習を担当する養護教諭にとって、より教材的価値の高い手引きを作成する必要がある。今後はさらに対象を増やして、詳細に検討していきたい。

VI. 参考文献

- 1) 教育職員免許法（1949）教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則（最終改正 2015 年 4 月）
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kyoin/1268593.htm Accessed November 22, 2017
- 2) 中央教育審議会答申（2008）「子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するために学校全体としての取組を進めるための方策について」
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo5/08012506/001.pdf Accessed November 22, 2017
- 3) 大谷尚子, 中桐佐智子 (1994) 全国養護教諭養成機関における養護実習の運営について-現状と今後の検討すべき課題について-, 学校保健研究 36 : 567-577
- 4) 日本養護教諭養成大学協議会 (2008) 日本養護教諭養成大学協議会委員会報告書. 7-18
- 5) 曾根陸子, 小笠原紀代子, 中川優子, 他 (1998) 養護実習のあり方に関する研究第1報-全国養護教諭養成機関における実習の目的・目標-, 日本養護教諭教育学会誌 1 : 16-23
- 6) 堀内久美子, 大谷尚子, 小笠原紀代子, 他 (1998) 全国養護教諭養成機関における養護実習評価の現状, 日本養護教諭教育学会誌 1 : 4-15
- 7) 高田恵美子, 治部哲也 (2016) 養護教諭の経験年数からみた養護実習の現状と課題, 関西女子短期大学紀要 26 : 1-16

- 8) 齋藤千景, 竹鼻ゆかり, 朝倉隆司, 他 (2016) 養護教諭養成大学における養護実習の現状と課題, 学校保健研究 58 : 75-73
- 9) 愛知教育大学教育実地研究専門委員会 (2007) 教育実地研究 (教育実習) の手引-養護実習編-, 愛知教育大学 (最終改正 2016 年 3 月)
- 10) 中央教育審議会答申 (2006) 「今後の教員養成・免許制度の在り方について」
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1212707.htm Accessed November 22, 2017
- 11) 宮崎猛, 小泉博明 (2015) 教育実習完璧ガイド. 2 実習中の心得, 小学館 : 東京, 28-39
- 12) 日本保健科教育学会 (2017) 保健科教育入門. 4 教育実習にあたって, 大修館書店 : 東京, 146-156
- 13) 大谷尚子, 中桐佐智子 (2015) 日本保健科教育学会 (2017) 保健科教育入門. 1 養護実習の目標と内容, 東山書房 : 京都, 9-26
- 14) 神原一之, 秋山哲, 川口浩, 他 (2012) 教育実習指導の効果に関する研究(II)-附属東雲小学校および同東雲中学校における実習生の意識変容に基づく検討-, 広島大学学部・附属学校共同研究機構研究紀要, 40 : 29-33
- 15) 石原昌江, 野村梨香 (2001) 岡山大学における養護実習の現状と課題, 岡山大学教育実践総合センター紀要, 1 : 89-98
- 16) 藤本比登美, 津島ひろ江, 中村祥子, 他 (2006) 広島大学「養護実習」のシステムに関する研究, 学部・附属学校共同研究紀要, 広島大学学部・附属学校共同研究機構 34: 41-48
- 17) 愛知教育大学教育実地研究専門委員会 (2007) 教育実地研究 (教育実習) の手引- 総論編-, 愛知教育大学 (最終改正 2017 年 3 月)

(2017 年 月 日受理)

7. 教育実地研究の手引き「養護実習編」のVI. 本学における養護実習のしくみ、4. 各種記録物・提出物は参考にしましたか

1) 各種記録物・提出物の種類と数

- ①とてもわかりやすかった ②わかりやすかった ③あまりわかりやすくなかった
④わかりにくかった、 ⑤見ていない

2) 「教育実習記録」の書き方

- ①とてもわかりやすかった ②わかりやすかった ③あまりわかりやすくなかった、
④わかりにくかった、 ⑤見ていない

3) 「健康相談または個別保健指導」の書き方

- ①とてもわかりやすかった ②わかりやすかった ③あまりわかりやすくなかった、
④わかりにくかった、 ⑤見ていない

4) 「救急処置の事例記録」の書き方

- ①とてもわかりやすかった ②わかりやすかった ③あまりわかりやすくなかった、
④わかりにくかった、 ⑤見ていない

5) 「学校行事等の参加記録」の書き方

- ①とてもわかりやすかった ②わかりやすかった ③あまりわかりやすくなかった、
④わかりにくかった、 ⑤見ていない

6) 「保健学習または保健指導の指導案（その他、健康に関する指導案）」の書き方

- ①とてもわかりやすかった ②わかりやすかった ③あまりわかりやすくなかった、
④わかりにくかった、 ⑤見ていない

8. 教育実地研究の手引き「養護実習編」は役に立ちましたか

- ①とても役に立った ②役に立った ③あまり役に立たなかった ④役に立たなかった

9. 教育実地研究の手引き「養護実習編」はわかりやすかったですか

- ①とてもわかりやすかった ②わかりやすかった
③あまりわかりやすくなかった ④わかりにくかった

10. 教育実地研究の手引き「養護実習編」に付け加えてほしい項目はありましたか

- ①なかった ②あった → 具体的な内容を記述して下さい

11. 教育実地研究の手引き「養護実習編」に無くしてもよい項目はありましたか

- ①なかった ②あった → 具体的な内容を記述して下さい